

授業科目名	動物行動学Ⅰ		科目コード	2403007	
開講クラス	動物健康管理学科	コース	動物園・水族館・ドッグインストラクターコース	学 年	1 年
担当教員	野崎佳織（非常勤講師）				
	実務経験教員（ ☒ 有 ・ 無 ）				
	実務経験内容				
	愛玩動物看護師資格				
	動物病院にて約 10 年間動物の診療補助、看護に従事 現場での経験をもとに、事例を出しながら授業を行う				
開講時期	前期・後期・ ☒ 通年 ・ 特別講義 ・ その他			授業コマ数	31 時間
	☒ 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須			単 位 数	1 単位
使 用 テキスト1	書 名	愛玩動物看護師の教科書 第2巻			
	著 者	緑書房編集部 編			
	出版社	株式会社 緑書房			
使 用 テキスト2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	☒ 講義 ・ 演習 ・ 実習				
＜授業の目的・目標＞					
犬や猫の種としての行動様式を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。					
＜授業の概要・授業方針＞					
主に犬と猫について扱う。犬や猫が長い歴史の中で人間とどの様に関わってきたか、一生をどの様に過ごし成長していくのか、他個体とどの様にコミュニケーションを取り、どの様な時にどの様な行動を取るのか等を学ぶ。また、講義で学んだ内容を、映像を見たり犬や猫を実際に観察したりすることで確認する。					
＜成績基準・評価基準＞					
前期と後期に優・良・可・不可の成績基準を設定する。評価の基準は筆記試験によるものとし、本科目の出席率が80%以上なければ本試験が受験できない。本試験における点数が 80～100点を優、70～79点を良、60～69点を可とし、60点未満は追試とする。また、出席率が80%未満の場合も追試となり、追試においては60～100点を可とする。追試にて60点未満の場合は不可となる。					
＜使用問題集・注意事項＞					

＜関連科目他＞ ドッグトレーニング実習		
授業科目名		動物行動学
回	授 業 内 容	備 考
1	はじめに	
2	動物行動学の基本概念：動物行動学の発展と行動学研究の4分野	
3	動物行動学の基本概念：行動の進化と適応	
4	動物の家畜化、犬と猫の起源と歴史	
5	行動の分類、維持行動	
6	社会行動：群れの社会行動、生殖行動	
7	社会行動：コミュニケーション行動、敵対行動と親和的行動	
8	行動発現の仕組み：行動の動機づけと脳による行動の制御	
9	行動発現の仕組み：行動の周期性	
10	行動の発達：社会化期について	
11	前期復習	
12	学外研修・事前学習	
13	学外研修	
14	学外研修	
15	学外研修	
16	学外研修	
17	学外研修	
18	学外研修	
19	学外研修・事後学習	
20	馴化と感化	
21	古典的条件づけとオペラント条件付け	
22	学習に影響を与える因子	
23	行動（反応）形成	
24	問題行動の定義と要因	
25	攻撃行動の種類、原因（動機づけ）と治療法	
26	恐怖・不安に起因する問題行動と治療法	
27	不適切な排泄行動の原因（動機づけ）と治療法	
28	高齢性認知機能不全の原因と症状、対応	
29	行動治療のすすめ方	
30	環境修正法と行動修正法	
31	問題行動を予防するために飼い主に指導すべきこと	